

ヘルパー きたら 未来さん

原作・井上千津子

監修・田中立美

絵・長谷邦夫



介護とは、
ホームヘルパー

悲しい顔・つらい顔を

うれしい顔にするスペシャリスト仕事です。

ヘルパーは途方に暮れる。

ヘルパーは劣等感にさいなまれる。

ヘルパーはストレスがたまる!!

人生の終わりを支えるヘルパーが
大切にされない世の中はおかしい。

「ヘルパー来楽さん」はインデックス出版が発行していた季刊誌『介護の本音ジャーナル』に十二回連載されたものを、この度、一冊の電子書籍としてまとめました。

超高齢化社会をむかえる日本にますますかかせなくなってくるヘルパーさんと利用者さんのお役に立てれば幸いです。

目次



ヘルパーの工夫 6



プライドとおしめ 14



ペットと社会ルール 22



自己覚知 30



受容とは認 38



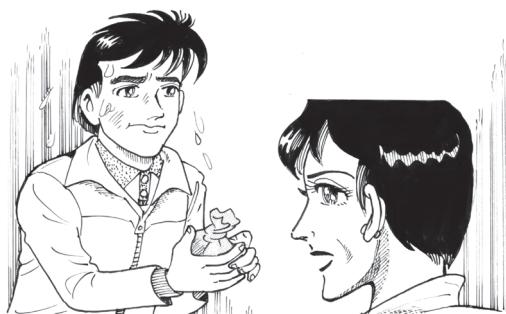
痴呆性老人の心理と行動 46

高齢者の生きがいと余暇活動 54

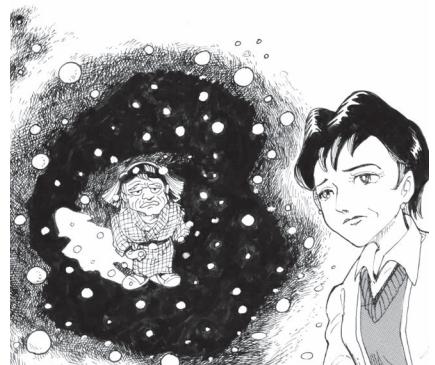


虐待 62

介護の情報とインターネット 70



施設編一 1 76



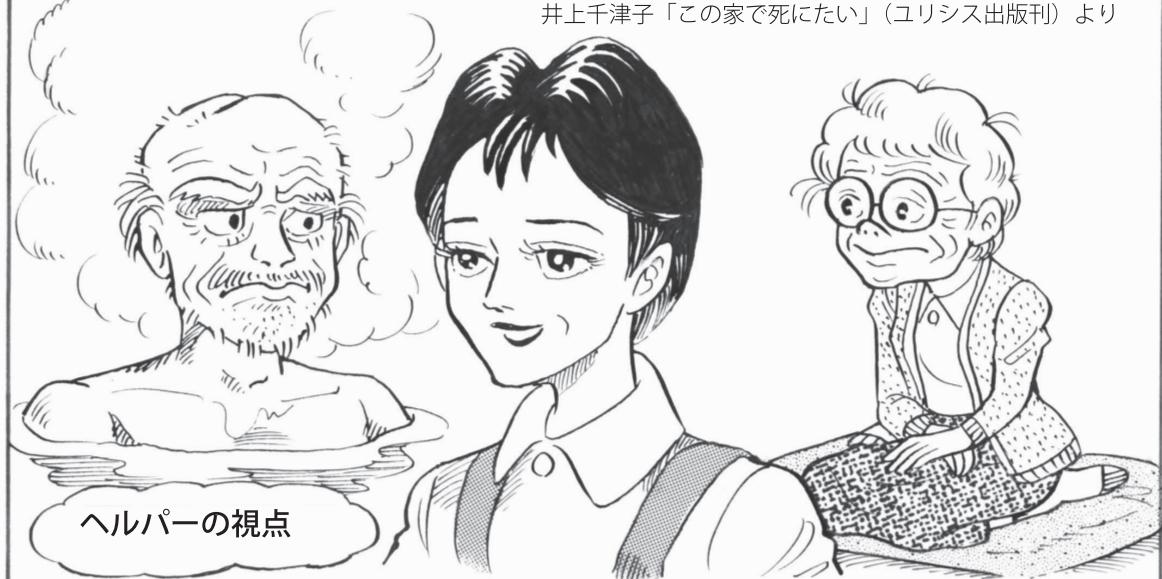
施設編一 2 84

最終回 92

きたら ヘルパー 末業さん

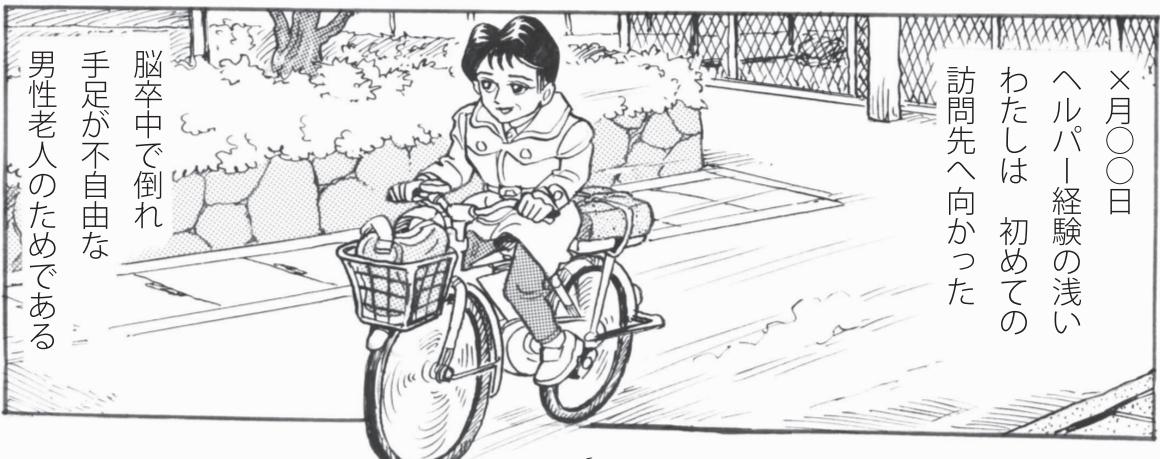
まんが・長谷 邦夫

井上千津子「この家で死にたい」(ユリシス出版刊) より



[ヘルパーの工夫]

在宅介護を継続させていく条件には、ヘルパーの工夫が占める領域が大きい。制度を利用して、生活しやすい家屋に改造できる情報を提供することも必要である。しかし、ヘルパーのちょっとした工夫で、援助を受ける人が今までの生活スタイルを大きく変えることなく、快適な生活を送ることができる。すぐに大改造を急がず、小さい工夫を考えてみる。それがヘルパーの「視」です。



奥さんから風呂へ入れて
欲しいとの要望があった



